

診療科の概要

当科は、メタボリックシンドロームに代表される慢性疾患から、急性心不全・急性冠症候群・致死性不整脈などの緊急を要する疾患群を主な守備範囲としています。メタボリックシンドロームなどは動脈硬化を惹起し、冠動脈硬化から急性心筋梗塞などの急性冠症候群を引き起こすとされています。

心臓自体を栄養する血管(冠動脈)は、糖尿病や高血圧症、高コレステロール血症などが原因で、血管壁にプラークが沈着・堆積することで動脈硬化を引き起こし、さらには石のように固くなる石灰化病変となり、狭小化し閉塞していきます。今までは、カテーテル治療において、病変部を風船で膨らませステントを留置する方法しかありませんでしたが、このように石のように固くなった石灰化病変は、柔らかい風船で拡張しようとしても十分に広げることが出来ず、ステントを留置してもきれいな仕上がりを得られないことがあります。

そこで当院では、治療困難な石灰化のある動脈硬化病変に対し、有効な治療法の手段として、ロータブレードというラグビーボールのような形状のドリルの先端に、ダイヤモンドの粒子が塗布してあるこのドリルが高速回転することで、石のように固くなった石灰化病変を切削し、血管を広げ治療を行っております。

まだ導入間もないですが、今後症例数を増やし、患者さんにその恩恵を提供できればと考えております。

医師紹介

医師名	役職	専門分野/認定・専門等	卒業年次
とびさわ 飛澤 としゆき 利之	部 長	専門分野： 虚血性心疾患、心不全 医学博士 日本内科学会認定内科医 日本内科学会総合内科専門医・指導医 日本循環器学会認定循環器専門医 日本心血管インターベンション治療学会 心血管カテーテル治療専門医 日本心臓リハビリテーション学会心臓リハビリテーション指導士 日本不整脈心電学会 ICD/CRT研修修了 旭川医科大学臨床指導准教授 札幌医科大学医学部臨床講師	平成20年
いんやく 印鑑 まさふみ 雅史	医 師	専門分野： 循環器内科	平成25年
きしうえ 岸上 なおひろ 直広	医 師	専門分野： 循環器内科 日本内科学会認定医 日本心血管インターベンション治療学会認定医 日本循環器学会専門医	平成26年
とだ 戸田 ゆうき 悠貴	医 師	専門分野： 循環器一般 日本内科学会認定医 日本循環器学会専門医	平成26年
いど 井門 ようすけ 耀佑	医 師	専門分野： 循環器内科	令和2年
かまだ 鎌田 あやか 綾花	医 師		令和3年

診療予定表

(初診：8：00～11：00)

	月	火	水	木	金
診察1	岸上	岸上	井門	印 鑰	印 鑰
診察2	井 門	飛 澤	飛 澤	飛 澤	鎌田
診察3	戸田		鎌田	戸田	
新 患	戸田	岸上	井 門	印 鑰	鎌田

* 第2・4金曜日午後：ペースメーカー外来

診療部長よりひとこと

この度、令和4年4月1日より循環器内科部長を拝命いたしました、循環器内科の飛澤 利之と申します。

私はこれまで、札幌医科大学付属病院、札幌医科大学大学院、また、道内関連病院勤務を経て、令和元年に当院へ赴任させていただきました。

昨今の高齢化社会を反映し、心不全パンデミックと称されるように心不全をはじめとした循環器領域疾患患者数は年々増加の一途をたどっており、我々循環器内科医の守備範囲は日々広がっております。このような中で、当科では心不全を中心とした様々な疾患に対する薬物療法、非薬物療法(カテーテルインターベンション等)に加え、心不全管理において重要な心臓リハビリテーションにも力を入れております。

このコロナ禍の影響で現状はなかなか進んでおりませんが、院内の設備・環境を徐々に整え、今後は入院のみならず外来リハビリテーションも充実させていく予定です。

また、当院は道北ドクターヘリ事業を運用する3次救急を担う高度救命救急センターを併設しております。よって、急性冠症候群に対するprimary PCIをはじめとした、循環器救急への対応も重要な責務と考えております。

まだまだ若輩者で経験も浅く、ご迷惑をおかけすることが多々あるとは存じますが、新しく生まれ変わった新生循環器内科として、これまで以上に皆様に信頼されるよう頑張りますので、今後とも宜しくお願い申し上げます。

